

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 19 日 (2009.2.19)

【公開番号】特開 2007-5283 (P2007-5283A)

【公開日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報 2007-001

【出願番号】特願 2006-38236 (P2006-38236)

【国際特許分類】

H 0 5 G 1/02 (2006.01)

H 0 5 G 1/06 (2006.01)

【F I】

H 0 5 G 1/02 P

H 0 5 G 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 6 日 (2009.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器内に X 線管、高電圧発生回路、および絶縁油を収容し、容器の外壁面の一部に放熱効率を向上させる放熱機構を設けた一体形 X 線発生装置において、

容器内に 1 個以上の放熱用開口と複数個の絶縁材料から成る壁面を有する筐体を備え、

該筐体はその放熱用開口が容器の放熱機構を設けた壁面（以下、冷却壁面という）に対向するように配設され、前記筐体内に容器内の主な発熱部と一部の絶縁油とが内包されること

を特徴とする一体形 X 線発生装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の一体形 X 線発生装置において、

前記主な発熱部が X 線管の陽極であること

を特徴とする一体形 X 線発生装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の一体形 X 線発生装置において、

前記放熱機構は放熱フィンと冷却ファンとから構成され、前記放熱フィンが前記容器の冷却壁面の外側に設置され、前記放熱フィンに対向して前記冷却ファンが配設されていること

を特徴とする一体形 X 線発生装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 いずれか 1 項記載の一体形 X 線発生装置において、

前記容器の壁面に 1 個以上の通気孔を設け、該通気孔に防塵用のフィルタを装着したこと

を特徴とする一体形 X 線発生装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 3 いずれか 1 項記載の一体形 X 線発生装置において、

前記筐体内に収納された発熱部と前記容器の冷却壁面との間に、熱伝達率の高い電氣的絶縁物質を介在させたこと

を特徴とする一体形 X 線発生装置。